**ワークシート「戦争から考える『子どもの権利条約』」**

「児童の権利に関する条約(子どもの権利条約)」は、子どもの基本的人権を国際的に保障するために定められた条約です。18歳未満の児童（子ども）を権利をもつ主体と位置づけ、大人と同様に一人の人間としての人権を認めるとともに、成長の過程で特別な保護や配慮が必要な子どもならではの権利も定めています。前文と本文54条からなり、子どもの生存、発達、保護、参加という包括的な権利を実現・確保するために必要となる具体的な事項を規定しています。1989年の第44回国連総会において採択、1990年に発効。日本は1994年に批准しました。

《子どもの権利条約　４つの原則》

○命を守られ成長できること　　　　　○子どもにとって最もよいこと

○意見を表明し参加できること　　　　○差別のないこと　　　　　　　

１　　Ａ国とＢ国が戦争をしています。Ｃ国はＡ国・Ｂ国の近隣国です。

Ａ国では…

爆撃で病院が壊されてしまい、国民はけがをしても病気になっても治療を受けられません。「屋外は危険だから」という理由で、学校に行くことも外で遊ぶことも禁止になったそうです。

Ｂ国では…

大人たちが戦争に行ってしまったため、武器工場では、子どもたちが朝から晩まで働いています。近々、子どもも兵士として戦争に行かないといけなくなるのか心配しているようです。

Ｃ国では…

「戦争を始めたのはＢ国だから、Ｂ国は悪い国だ。Ｃ国からＢ国の人を追い出せ。」と言っている人

たちがいます。

親から「あの子の家族はＢ国だから仲良くしてはいけない。」と言われた子もいるそうです。

２ 　それぞれの国でどのような人権の侵害や生活上の制約があると思いますか。カードブックを見なが

ら書いてみましょう。

３ 実際の戦争では、ほかにどのような人権侵害があると思いますか。書いてみましょう。

４ 気づいたことや考えたことを書きましょう。また、これからの自分の生活と結びつけて考えたことも書

いてみましょう。

Ｃ国では…

「戦争を始めたのはＢ国だから、Ｂ国は悪い国だ。Ｃ国からＢ国の人を追い出せ。」と言っている人たちがいます。

親から「あの子の家族はＢ国の人だから仲良くしてはいけない。」と言われた子もいるそうです。